

東北大学（片平）情報通信国際共同研究拠点施設整備等事業に対する シンジケート・ローン組成について

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、東北大学（片平）情報通信国際共同研究拠点施設整備等事業（以下「本事業」といいます。）に対して、当行を主幹事（アレンジャー）とするシンジケート・ローンを組成いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行では、今後ともお取引先企業の多様な資金調達ニーズに積極的に対応し、地域経済の活発化に取り組んでまいります。

記

1. 本件概要

当行は、本事業にかかる資金調達を支援するため、株式会社民間資金等活用事業推進機構（以下「PFI推進機構」といいます。）と、対象事業への融資を実施いたします。

- (1) 契約日：2023年6月9日
- (2) 契約形態：シンジケーション方式タームローン
- (3) アレンジャー：七十七銀行
- (4) 参加金融機関：七十七銀行、PFI推進機構

2. 事業内容

- (1) 事業名：東北大学（片平）情報通信国際共同研究拠点施設整備等事業
- (2) 事業者名：東北大学片平PFI株式会社
本事業実施のために設立された特別目的会社
- (3) 事業場所：宮城県仙台市青葉区片平二丁目1-1（東北大学片平団地構内）
- (4) 施設概要：電気通信研究所本館、新2号館、新工作棟
- (5) 契約責任者：国立大学法人東北大学 理事 植木 俊哉
- (6) 事業概要：施設整備業務、維持管理業務、
レンタルラボ・オフィス部分の企画・運営業務、
民間附带施設事業及びこれらに関連付随する一切の事業からなる事業
- (7) 事業方式：BTO（Build Transfer Operate）方式
- (8) 事業期間：事業契約締結日から2040年3月31日まで

- 1 -



4. 施設の概観（完成予想図）



※ シンジケート・ローンについて

アレンジャーが中心となって融資条件を決定し、複数の金融機関でシンジケート団を組成して行う形態です。企業にとっては、同一の借入条件のもとで多数の金融機関との取引窓口が一本化されることにより、資金調達に伴う事務の簡素化、効率化が可能となります。

※ BTO方式について

民間事業者が自らの資金調達により施設等を設計・建設（**Build**）し、完成後公共に所有権を移転（**Transfer**）し、当該施設の使用権を得たうえで運営（**Operate**）を行う事業方式です。

（関連するSDGs）



SDGs（Sustainable Development Goals）

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。

七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言～もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明し、SDGsに対する取組みを更に強化するため、2021年10月より「SDGs実践計画」を策定しております。

以上